

Fkobe
R04 | 2.pdf

【From Kobe 12月 師走】

fkobeR0412.pdf

あっという間の一年が過ぎて 12月師走 神戸便り 2022.12.15.

色鮮やかだった街路樹も12月落葉がはじまり、落ち葉を踏む音が心地よい初冬の訪れを感じる街景色

神戸の街にルミナリエがのびる日が今年も中止になりましたが、3年にわたるコロナとの付き合いの中で、コロナの実態が少しずつわかってきた。

ワクチン接種・医療関係者の献身的な治療経験ノウハウとうのちくせきと治療薬も認可。行動の自主規制も何となく緩和され、街があかるさをとりもどしつつ新型コロナウイルス収束の道がやっとみえ、街に活気が出てきた師走になりました。

コロナ波の流行がひそかに進行中ですか、なんとかこのまま収束してほしいと願っています。



兵庫から
「NO WAR」

ロシアのウクライナ侵攻が続く中で
ウクライナに思いを馳せて Stop the War !!
ウクライナの平和への祈り

知人から送られてきた動画です
きれいな祈りの旋律が流れる美しいウクライナの街
理不尽にも次々と街が破壊され、多くの人の命が奪われてゆく
ウクライナの今に涙しています Mutsu Nakanishi

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=eqLcQJlt-Bk>

ウクライナ 賛美歌「ウクライナへの祈り」
(Молитва за Україну)

ロシア軍の侵襲状況
ベラルーシ リトアニア ポーランド ウクライナ モルドバ ルーマニア
ロシア軍が攻撃の地域
ロシア軍の動き
★ 戦勝があった場所

スクラム組んで コロナ収束まで もうひとふんばり
みんなの笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託して

Merry Christmas !! God be with You!!

一日も早く、ウクライナに平和な暮らしが取り戻せますように

■ 若者の時代到来を体現してくれたサッカー ワールドカップ

「あきらめない 一つになれば 奇跡は何度も起きる」

この厳しい時代を生きる知恵 期待から確信へ

■ うそをつかない「科学の眼」 若者たちへのバトンタッチを日本は急がねば

■ 和鉄の道一年を振り返って

■ 収録 桂文珍さんの落語的見聞録 神戸新聞11月11日 & 12月8日朝刊より

「世界が一周回って1ドル/360円??」& 「にわかファンがカタール夢」

1. 若者の時代到来を 体現してくれたサッカー ワールドカップ

奇跡は何度も起きる & うそをつかない「科学の眼」

この厳しい時代を生きる知恵 期待から確信へ

「あきらめない 一つになれば奇跡は何度も起きる」

この厳しい時代を生きる知恵 期待から確信へ
「あきらめない 一つになれば 奇跡は何度も起きる」



12月トップ 新しい事態の始まりを告げるがごとく
ワールドカップカタール世界大会で、日本の若い選手たちが躍動
新しい時代の道を示すがごとくに!!
10・11・12月 本物の奇跡が3度も おめでとう!!
新しい時代を切り開く若者たちに乾杯!!

■ われらみんな地球人 互に思いを寄せて

Merry Christmas !! God be with You!! by Mutsu Nakanishi From Kobe

高齢化が進む中で迎える「ポストコロナ・低炭素社会構築」大変革の新時代 幕開け
はじめて気が付いた戦争の悲惨・核戦争の危機 ゲームの世界が今現実になが身に降りかかる
島国として守られてきたぬるま湯日本が、厳しい現実さらされている。
地球人としての自覚なしには生きられぬ時代に
うそをつかない「科学の眼」 若者たちへのバトンタッチを日本は急がねば

若者たちが世界へ飛び出し、躍動したこの12月

この10・11・12月 オリックス野球の躍動も附豆、奇跡が3度も 目の前で起きた
気負わず粘りぬく神髄を見たせてくれた 年寄りもみんながみんな これぞこれからの生き方か……
自分流に言えば、知力の衰えを自覚して好奇心・気力・行動で 仲間と共にスクラム組んで臆せず役割を果たそうと。
◎ 嘘をつかない「科学の目」を養おう。

よく「真実是一つ」とよく言うが、その見え方 姿形は様々。色々描かれてきただまし絵やPhot トリック等がそれだ。
様々に見える「真実の姿・形」を見抜く目。それが嘘をつかぬ「科学の目・判断力」

政治家がよく使う手「即物的・スピードを良しとする近視眼的目」には幾つもある「真実の姿」が映らない。
世間にはそれを意図的に利用している節も垣間見える。

今 日本で一番不足しているのが、この「科学の目」日本は今 まさにこの科学の眼が試されている。
そんな折に サッカー日本チームの執念の技 1ミリの重なりを見抜いた科学の目の存在を大きく知らしめた。
日本の科学者たちも政治家の手法に取り込まれず、もっと科学の目を養い、独自の声をあげねばと。

「科学の目からすれば、真実は幾多の姿をして現れる」

奇跡は一回でなく、真実の姿もいくつもある。

オリジナルを見据え、先端を突き詰める。ルーツに遡る。そして総合・スクラム・視点解析等々
科学の目を養う方法がいくつも試されて勝ち得たサッカー日本チームの若者たち
カタールでのうれしい体現に日本がそして世界がわいた。

「若者の時代が来ている」とつよく感じられた本年の年の暮れになりました。

うそをつかない「科学の眼」 若者たちへのバトンタッチを日本は急がねばと
穏やかな暮らしが実現できるよう 老いも若きも スクラム組んで
新しい時代へ 前向いて 第一歩

和鉄の道 HP にお付き合いありがとうございます。来年もよろしく
God be with You!! も口癖に 高齢で迎えるポストコロナ・変革の厳しい新時代を前向いて
みんなの力で取り戻そう 穏やかな日常をと
今年一年 いろんな思いが駆け巡る師走です
忘れてはならぬ第一歩 コロナワクチン接種12月15日に受けます。

2022. 12. 2. 15. FROM KOBE Mutsu Nakanishi

2. 深まりゆく秋から師走へ あっという間の一年を振り返って

厳しい年の暮れですが、明日への希望を願って「MERRY CHRISTMAS!!」

今までに経験したことがないことが色々あった一年。

コロナ禍の中で、日本の緊急医療システムの破綻・過酷自然災害の続発。そして、ロシアのウクライナ侵攻の残虐さと大国の傘に頼る虚しさ。

科学・モノづくり立国と叫んでも 気が付いてみれば、先進国に遠く及ばず、中進国にも追い抜かれる現実。
そんな現実にもほうかむり。「自分たちでなければ」の心地よい言葉の都合主義のバラまき政治
みんなが気が付き始めたおかしな日本の一年。

本年掲載してきた「和鉄の道」よくまあ 同じことを
ぶつぶつ言ってきたなあ……と。

ずっと感じていた若者たちへの世代交代の必要性 でも 希望はある。
嬉しいNEWS 世帯交代を体現してくれたサッカー日本チームの若者たち。
最後までぶつぶつの一年。お許しください。

◎ 今年一年の和鉄の道掲載件数

「和鉄の道・IRON ROAD」	: 13 件
「風来坊・COUNTRY WALK」	: 28 件
「四季折々 神戸便り・FROM KOBE」	: 11 件

■ 2022 和鉄の道・IRON ROAD : 13 件

世界が取り組む「ポストコロナ 低炭素社会構築への大変革」

今年も CO₂ 増加による地球環境変化が元ラッス激甚災害の急増への根本対処は待ったなし。

でも ロシアのウクライナ侵攻が影を落とす。

自然エネルギー・再生エネルギーのみではどうしてもならず、石炭火力・原子力発電の見直しを各国が進め始めた。

日本も……でも 軸足の定まらぬ日本 具体的アプローチ並びに目標への具体的な道が見えぬ日本。

情勢は刻々変化。でもわれら地球人 一人足踏みするわけにはいかぬ。

インターネットを中心に私の目に留まった世界の低炭素社会へのアプローチ。

玉石混合でしょうが、日本を含め、この世界の社会変革の時代の取組を

私なりに引き続き調べてみたいと思っています。

そんな中で、ずっと気がかりだった日本の鉄鋼業。 日本の鉄鋼業は度々 ンな姿に変貌するのか?を注視してきましたが、なかなか見えてこない国際競争力の回復並びに巨大な中国 そしてインド・欧州勢との対抗。

かつての鉄鋼生産量日本一の姿は遠く及ばない。話は日本国内での合理化推進と操業転換へのアプローチしかお伝え出来ず、一番の課題 一向に景気が回復しない日本の中で、鉄鋼業は世界へどうアプローチするのかと。

11月半ば インターネットを調べていて、世界戦略をクリヤーにして日本の鉄鋼が取組む姿に正面から追うルポの特集日経ビジネス社の特集に出会いました。

「業績回復・国内設備の統合スリム化が進み、脱炭素・水素製鉄取組を軸に、国際競争力回復を含めた世界戦略取組の挑戦がバールを脱ぎ始めた。日本の鉄鋼頑張れ!!とエールを送る(12月掲載)」として紹介させていただきました。

■ 今月12月掲載の和鉄の道 掲載記事

日経ビジネス誌「沈まぬ日本製鉄 改革の今」の取組実態レポートを読んで
厳しい中で 世界へ立ち向かう日本の鉄鋼の姿にエールを送る

2022.11.25. FROM KOBE MUTSU NAKANISHI

<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/iron18/R0412NipponSteel.pdf>

参考添付 もう一つの雄 JFE の場合 インターネット拾い読み

JFE スチール-2030 年に向けて- スリムで強靱な企業へ 海外事業、技術供与型に

この12月 経済誌の限界はあるのですが、よくまとまった鉄鋼業の今 挑戦する鉄鋼の姿を見てうれしく紹介することができました。

参考になればと 私の私蔵版 そっくりそのまま特集記事をリンクを付けて掲載紹介。

でも 取組の結果はこれから。世界へ挑戦する日本の鉄鋼の姿が皆様に映ればと……

また、約20年掲載してきた「和鉄の道」を読み返えしつつ、整理を始めました。

鉄に携わった嬉しさに出逢った記録も少し統合整理せねばと……………

■ 風来坊・COUNTRY WALK :28件

コロナ禍の中で、私の住む西神戸・東播磨を中心に 近隣の四季折々の記録を今年も掲載してきました。

四季折々 訪れる定点 WALK の記録が多くなりましたが、その年々の変化を見つけるのも面白い。

目新しい記録ではありますが、約20年 海外も含め よくいろんなところへ出かけたとその時の事を思い出しています。

ここ数年 POWER POINT を使いこなせるようになってスライド動画での記録中心に。

特にトピックスありませんが、近隣の野山の四季に目を向けていただければ……

場所を定めぬ思いつくままの風来坊 失敗もありますが、新しい発見にわくわくです。

■ 四季折々 神戸便り・FROM KOBE :11件

約20年 各々の一年を振り返る行動メモ 最近はおいを感じる事がひしひしと。

11月の中旬を過ぎ、野路菊が咲き始めると丘に登って私の秋送り。

先逝く仲を思い浮かべつつひとときを過ごす。

今年もやりとげた安堵とさびしさ そしてまた来年もと。

コロナ感染防止の自己行動規制・神戸籠りではや3年。

今年で収束できるかなあ……自由に飛び出してみたい。

まだまだ足も動く 好奇心もある 行きたいとは ここかしこ

でも 79歳になりました

勝手気ままな風来坊の記録 来年もよろしく。

厳しい年の暮れですが、明日への希望を胸に 前向いて

「MERRY CHRISTMAS!!」 本年のクリスマスカードを送ります。

2022.12.15. FROM KOBE MUTSU NAKANISHI

文珍さんの落語的疑問録 11月「時代が一周回って」1冊、360円!?! 神戸新聞 11月 10日朝刊より整理

文化

田が安いよな。インバウンド(訪日客)が「すごい安く」ブランドものを買ったとあれしようにして、いる者を導くにつけ、時代は変わったと思う。

$$\text{HO}-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{OH}$$

— 154 —

COOPERATIVE

れない。日銀が介入しても

きつておいてあげよう。



痞語的見聞錄

神戸新聞

5/15/92 9:12 AM 1 MB

11, 10, 11

本曜日

2015年10月20日

時代が一周回って1ドル360円！?

12月掲載
《1》

昔、「葉高がおる世界の旅」というTV番組があった。神戸生まれの葉高さんが飛行機でさっそうと世界を旅なさる番組で、約30年間、放送された。番組が始まったのは1959年。当時1ドルは360円だった。これは円が360度なの

今、円安の時代。ひょっとして、2025年の大阪万博が開催される頃、1ドル360円になったらエライことだよ！

政策金利の難しい話は全くなからないが、こんなに円安だと、おいそれと海外旅行なんぞ行けない。TV、米ロサンゼルス、ジャパニ

たから16ドル。世界で小麦の値が上がりついているのに、16ドル高、円安世界の旅と

すると昔、日本に来てい

たサラリーマン、日本滞在

中に落語、時うどんを聞

き、十六文のうどんの勘定、

一つ二つ三つと金を渡し

「今、何時？」と聞き、「八つ」

すると、日本に来てい

時代が一周回って1ドル360円¹⁾

「今何時?」と聞き、「八つ」
とどろん屋が言つて、あと
「九つ、十!」と一文ごまか
す。これを盗むは、「ワンタ

で、その決めた、と聞いたことがある。今の目録の建物も上から見れば南という形になっている。

日本の番組で何度もナレー

「スレストランで、キッネ
ラー、ツッター……」と8
うどんを煮べる。さて勘定
払った後、「ヘイノ マスタ
をという時、いくらだと聞
く、ワッタム イスイツ
「16」と「トナウ？」
「イツツ5」「オ

1970-1971

「さあ、それでは」1、6、7、アイロスト

わたしたちは大阪万博の男だが、私は二度も海外に行くことが出来た。『ユニー』が、

たが、それとはなく、小さなタ
どんも日本から輸入してい
ンダラーと、面白いのだ。

から日本も高度成長期に入
ジオの片隅でしゃべるだ
る。ついでこの間まで20は
(かつら・ぶんぶん・落

久、田舎の奥へ。それが、あゝ、間、海外旅行に下りなかつた。田舎こたう語者。次回は12月8日。

次回は12月8日

次回は12月8日

